

安全上のご注意	2-7
使用上のご注意	8-9
はじめに	
製品の特徴	10
パッケージ内容	11
製品の概要	12
メインユニット	12
コントロールパネル	13
接続ポート	14
リモートコントロール	15
インストール	
プロジェクタを接続するには	16
プロジェクタの電源オン/オフ切り換え	17
プロジェクタの電源をオンにする	17
プロジェクタの電源を切る	18
投影された映像の調整	19
プロジェクタの高さを調整する	19
プロジェクタのズーム/フォーカスを調整する	20
投影画面のイメージサイズを調整する	20
ユーザーコントロール	
コントロールパネル & リモートコントロール	21
オンスクリーン・ディスプレイメニュー	23
操作方法	23
メニューツリー	24
画質メニュー	26
映像メニュー	28
システム	30
表示メニュー	31
付録	
トラブルシューティング	33
ランプの交換	36
仕様	37
互換モード	38

安全上のご注意

ご使用の前に必ずお読みください。

正しくお使いいただくことでお使いになる方への危害および、財産への損害を未然に防ぐことができます。安全のために以下の警告事項、注意事項をお守りいただき、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

「安全上のご注意」の絵表示

警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡したり、人体に多大な損傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

●絵記号の意味



この記号は注意（警告を含む）しなければならない内容であることを示しています。記号の中や近くに注意内容が示されています。

例) 

「感電注意」を表す絵表示



この記号は禁止の行為（やってはいけないこと）を告げるものです。記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。



例)

「分解禁止」を表す絵表示



この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。

記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。



例)

「電源プラグを抜く」を表す絵表示

注意

 禁止	<p>本製品は以下のようなところ（環境）で使用および保管をしないでください。</p> <p>故障の原因となることがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 湿気が多いところやホコリが多いところ ● 直射日光があたるところ ● 温湿度差の激しいところ ● 水気の多いところ（台所、浴室、水辺、海岸など） ● 腐食性ガス、油煙の中 ● 静電気の影響が強いところ ● 热の発生する物の近く（ストーブ、ヒーター、コンロなど） ● 強い磁力電波の影響を受けるところ（磁石、ディスプレイ、スピーカなどの近く） ● 振動や衝撃の加わる場所や傾いた場所 ● 保温性・保湿性の高い（じゅうたん・カーペット・スポンジ・ダンボール・発泡スチロールなど）場所での使用（保管時は問題ありません）
 禁止	<p>本製品は精密部品により構成されています。以下のことにご注意ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 落としたり、衝撃を加えない ● 本製品の上に飲み物などの液体や、クリップなどの小部品を置かない ● 重いものを上にのせない ● 本製品のそばで飲食・喫煙などをしない
 厳守	<p>ケーブルは足などに引っ掛けないように、配線してください。足を引っ掛けると、けがをしたり、接続機器の故障の原因になります。また、ケーブルの上に重いものを載せないでください。じゅうたんの下などに配線したときは気づかず重いものを載せてしまいがちですので十分注意してください。また、熱器具のそばに配線しないでください。ケーブル被覆が溶けたり、破れたりし、接触不良などの原因になります。</p>
 厳守	<p>ほかの電子機器に隣接して設置した場合、お互いに悪影響をおよぼし電波傷害をひきおこすことがあります。特に近くにテレビやラジオなどがある場合、音声が乱れたり、画像が乱れたりする場合があります。その場合は次のようにしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● テレビやラジオなどからできるだけ離してください。 ● テレビやラジオのアンテナの向きを変えてください。 ● コンセントを別に分けてしてください。

安全上のご注意

 厳守	長時間に渡って映像を見るばあいは一定の間隔で休憩をとつてください。また部屋を真っ暗にすると目に疲労が蓄積されますので部屋を適度に明るくしてご覧ください。
 禁止	排気ファン動作中は電源ケーブルを抜かないでください。冷却ファンの回転音が止まり、主電源をオフにしてから電源ケーブルを抜いてください。
 禁止	ランプモジュールのお取り扱い時は、手袋などをして素手ではさわらないようにしてください。ランプモジュールのプラスチック部分以外は、絶対にさわらないでください。破損する恐れがあります。
 厳守	ご使用直後はランプモジュール部分は大変高温になっています。絶対に触れないでください。ランプモジュールの交換はご使用後1時間程度放置し、余熱が完全に取れてから行ってください。やけどの恐れがあります。
 厳守	ランプモジュールを落とさないようご注意ください。ガラスが散り、けがをする恐れがあります。
 禁止	指定の電池（単4型乾電池）以外は使用しないでください。指定以外の電池を使用した場合、故障の原因となります。
 厳守	電池を使い終ったときや、長時間使用しない時は取り出してください。 電池を入れたままにしておくと、過放電により液が漏れ、けが、故障などの原因となります。
 厳守	取り付け時には、極性に十分注意して取り付けてください。（電池には+極と-極があります。）故障の原因となります。
 注意	本製品を使用中にデータなどが紛失した場合でも、データなどの保証は一切いたしかねます。 故障に備えて定期的にバックアップをお取りください。

安全上のご注意

警告

 厳守	煙がでている、へんなにおいがする、へんな音がするなどの異常が発生したときはすぐに使用を中止してください。万一異常が発生した場合は電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、感電したり、火災の原因になります。
 水濡れ禁止	本製品を濡らさないでください。水気の多い場所で使用しないでください。 お風呂場、台所、海岸・水辺での使用は火災・感電・故障の原因となります。
 厳守	本製品を設置するときは、他の機器、壁などから適当な間隔をとってください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。目安として10cm以上の空間を空けてください。
 禁止	本製品は紙、布などの柔らかいものや軽いものの上に設置しないでください。通気孔（レンズに向かって右側面と、背面）に吸いついて内部の温度が上昇し、火災の原因となることがあります。
 禁止	本製品を使用するときは近くに燃えやすいものを置かないでください。 火災の原因となることがあります。
 厳守	温度差のある場所への移動するとき、表面や内部が結露することがあります。結露した状態で使用すると、火災や感電の原因になります。使用するところで電源を入れずにそのまま数時間放置してからお使いください。
 分解禁止	改造・分解はしないでください。お客様により修理は行なわないでください。 火災や感電、やけど、動作不良の原因になります。
 禁止	本製品内部へ異物を入れないでください。金属類や燃えやすい物などを入れないでください。火災や感電の原因になります。特に通風孔には異物がはいらないよう注意してください。
 禁止	使用中はレンズをのぞかないでください。 レンズからは非常に強い光が発せられていて、目を痛める原因となりますので、絶対にのぞかないでください。

安全上のご注意

 禁止	<p>リモコンのレーザー光を目にあてたり、人の目にあてたりしないでください。</p> <p>目を痛める原因となりますので、絶対にのぞき込まないでください。本リモートコントロールにはクラスⅡレーザーが装備されています。</p>
 禁止	<p>本製品は下記のようなところで使用しないでください。 故障の原因になったり、思わぬ事故のもとになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ほこりの多いところ ● 振動や衝撃の加わるところ ● 不安定なところ ● 通気孔（レンズに向かって右側面と、背面）がふさがるところ ● 温度差の激しいところ ● 水分や湿気の多いところ ● 温度が高いところ
 禁止	<p>使用中や使用後は排気孔（レンズのある面）およびその回り、設置台が熱くなります。 やけどの原因になりますので、触らないでください。</p>
 厳守	<p>ランプモジュールを交換するときは、必ず電源ケーブルをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となります。</p>
 禁止	<p>ケーブルは付属のものを使用し、次のことについて取り扱ってください。 取り扱いを誤ると、ケーブルが傷み、火災や感電の原因になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 引っ張ったり、折り曲げたりしない ● 圧力をかけたり、押しつけない、ものをのせない ● 加工しない ● 熱器具のそばで使わない
 禁止	<p>ぶつけたり、落としたりして衝撃を与えないでください。そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因になります。</p>
 厳守	<p>電源プラグはほこりが付着していないことを確認して使用してください。接触不良で火災の原因になります。電源プラグは根本までしっかりとさしてください。根本までさしてもゆるみがある場合は接続しないでください。販売店や電気工事店に依頼し、コンセントを交換してください。電源コンセントはたこ足配線、テーブルタップやコンピューターなどの裏側の補助電源への接続をしないでください。</p>

安全上のご注意

 厳守	<p>電源コードの抜き差しは必ずプラグ部分を持って行ってください。電源コードを引っ張るとケーブルが傷み、火災の原因になります。電源プラグをコンセントから抜き差しするときは、濡れた手で行なわないで下さい。濡れた手で行うと感電の原因になります。</p>
 禁止	<p>電池の液が漏れたときは、液に触れないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 電池の液が目にはいったり、体や皮膚につくと失明やけが、炎症の原因となります。液が目に入ったときは目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分に洗い、ただちに医師の診察を受けてください。 ● 液が体や衣服についたときすぐに水道水などのきれいな水で充分洗い流してください。皮膚の炎症やけがが症状があるときは、医師に相談してください。
 厳守	<p>電池は小さな子どもの手の届かない場所に置いてください。電池は飲み込むと、窒息したり、胃などに障害をおこしたりする原因になります。万一、飲みこんだときは、ただちに医師に相談してください。</p>
 禁止	<p>(+) (−) を金属類で短絡させないでください。 液が漏れたりして、けがややけどの原因となります。</p>
 厳守	<p>電池から液が漏れたら、すぐに火気より遠ざけてください。漏れた液やそこから発生する気体に引火して、発火・破裂の恐れがあります。</p>
 禁止	<p>電池を火の中に入れたり、加熱・分解・改造・充電しないでください。また、水で濡らさないでください。 液が漏れたりして、けがややけどの原因となります。</p>
 厳守  注意  発火注意	<p>電源ケーブルを取り扱つかうときは以下のことご注意ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 電源ケーブルを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。ケーブルを加工しないでください。 ● 電源ケーブルをコンセントから抜くときは、必ずプラグ部分を持って抜いてください。ケーブルを引っ張ると、ケーブルが傷み、火災・感電・故障の原因となります。 ● 濡れた手で電源ケーブルのプラグをコンセントに接続したり抜いたりしないでください。感電の原因となります。電源ケーブルがコンセントに接続されているときには濡れた手で本体に触らないで下さい。感電の原因となります。 ● 電源ケーブルのプラグは根本までしっかりと差し込んでください。ほこりが付着していないことを確認してからおこなってください。接触不良で火災の原因となります。
 厳守	<p>本製品を使用する際は、接続するパソコンや周辺機器メーカーが指示している警告、注意表示を厳守してください。</p>

使用上のご注意

設置場所について

本プロジェクターは200wのランプを使用しており、内部が大変熱くなります。以下の設置場所をお守りください。

- 風通しの良いところに設置してください。内部に熱がこもらぬ様、充分注意し、通風孔（レンズに向かって右側面と背面）をふさぐことなく、充分な空気循環ができるようにしてください。
- 高音になる場所には設置しないでください。直射日光にあたる場所や、熱器具（ストーブ、ヒーター、ホットカーペットなど）の近くに設置しないでください。
- 屋内で使用してください。屋外で使用することを前提に設計されてません。故障の原因になります。
- 設置場所の強度が充分あるところに設置してください。高い場所への設置時は、ぶつかったり、落下したりしないことを充分に注意し、安全に設置してください。
- 油煙や腐食性のガスのあるところには設置しないでください。
- 振動や連続的な衝撃の加わるようなところには設置しないでください。

見る場所について

- 画面との距離を適度にとってご覧ください。
- 暗すぎる部屋は目を疲れさせるのでよくありません。適度な明るさの中でご覧ください。長時間見るときは適度に休憩をしてください。

お手入れについて

- レンズや本体が汚れたときは乾いた柔らかくきれいな布等で軽く拭いてください。汚れがひどいときは柔らかくきれいな布に水または中性洗剤を含ませて良く絞ってから軽く拭いてください。
- 水滴などがレンズについた場合はすぐに乾いた柔らかくきれいな布等で拭いてください。そのまま使用すると、表示面が変色したり、シミになったりする原因となります。また、水分がつくと故障の原因となります。
- 清掃を行なうときは、かならず電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。

廃棄について

廃棄するときは、地方自治体が定める条例にしたがってください。

ランプの寿命について

- 本製品で使用しているランプモジュールには寿命があります。標準約2,000時間になります。交換時期になると警告メッセージが画面内に表示されます。ランプ交換のページの方法に従い、ランプモジュールを交換してください。
- ランプは消耗品扱いです。保証期間は購入後3ヶ月以内もしくは、使用後100時間以内となります。これ以降は、保証対象外となります。
- ランプモジュールの寿命はあくまで目安として提示されるもので、この限りではないばあいがあります。あらかじめご了承ください。

その他注意事項

- 保管時は高温多湿を避け、ほこりなどが進入しないよう保管して下さい。
- 長期間使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜いてください。
- 持ち運びするときは、添付のソフトケースなどしまい、衝撃をあたえたり、雨に濡らしたりしないよう注意してください。
- レンズは傷つき易いので硬い物でおしたり、こすったり、たいたりしないでください。また、強い圧力をレンズおよび周囲に与えないで下さい。破損の恐れがあります。
- やむを得ず宅配便などで郵送する際は、オプションの専用ハードケースを利用するか、購入時のダンボールとクッショングをお使いすることをおすすめします。
- Microsoft、Windows、Windows NT、Windows Me、Windows 2000は米国マイクロソフトコーポレーションの米国およびその他の国における登録商標です。
- 本書の内容の一部または全部を無断転載することはかたくお断りいたします。
- 本書の内容については、将来予告なしに変更するばあいがあります。



この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的と/orしていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

製品の特徴

当製品はXGAシングルチップ[®] 0.7" DLP™ プロジェクタです。
以下の優れた機能が搭載されています:

- ◆ リアル XGA, (1024 x 768 ピクセル)
- ◆ 6.4 lbs (2.9 kgs) のコンパクトデザイン
- ◆ シングルチップ DLP™ 技術
- ◆ アーチファクトフリーのフィルム材用PureProgressive™ 加工技術を採用
- ◆ NTSC/NTSC4.43/PAL/PAL-M/PAL-N/SECAM および HDTV 対応
- ◆ デジタルとアナログ双方のビデオ接続を可能にする高技術DVIコネクション
- ◆ リモートコントロール
- ◆ ユーザーフレンドリーな多言語オンスクリーン・ディスプレイメニュー
- ◆ 最新のデジタルキーストン修正
- ◆ ユーザーフレンドリーなコントロールパネル
- ◆ SXGA 圧縮およびVGA, SVGA リサイ징
- ◆ 200 Wのユーザー交換可能なUHPランプ
- ◆ Mac 対応

パッケージ内容

本機には、以下のアイテムが含まれています。すべてのアイテムが揃っているかご確認ください。不足品がある場合には、ただちにお買い求めの販売店へご連絡ください。



レンズキャップ付き
プロジェクタ



電源コード



HDTV/コンポーネント用
DVI-RCA間ケーブル



S-Videoケーブル



YPbPr用のD-15～RCAアダ
プタ



コンポジット
ビデオケーブル



ユーザーガイド



ワイヤレスリモート
コントローラー



バッテリーx2



※各国で使われている
アプリケーションが異
なるため、一部の地域
では異なるアクセサリ
が含まれることがあり
ます。

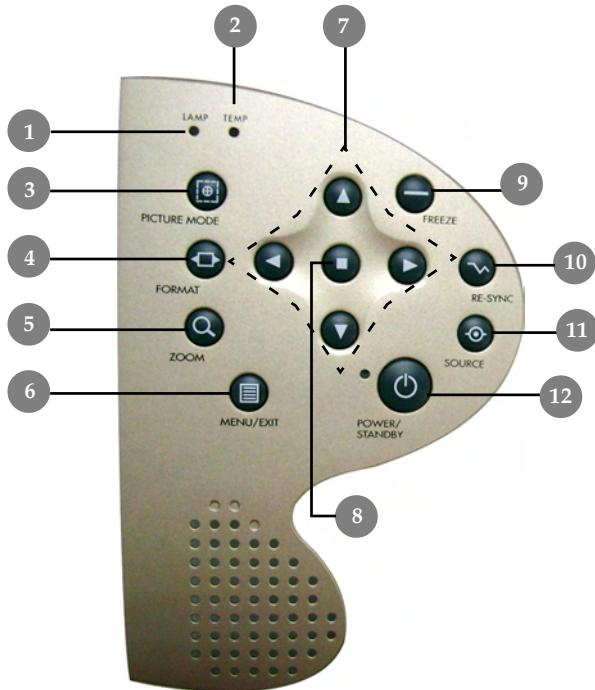
製品の概要

メインユニット



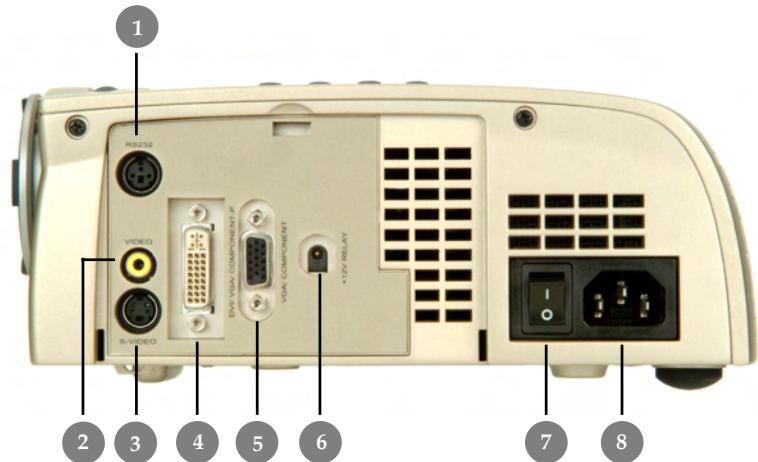
1. コントロールパネル
2. 電源コネクタ&電源スイッチ
3. 接続ポート
4. フォーカスリング
5. ズームレンズ
6. ズームリング
7. リモートコントロールレシーバー
8. エレベーターボタン
9. エレベーターフット

コントロールパネル



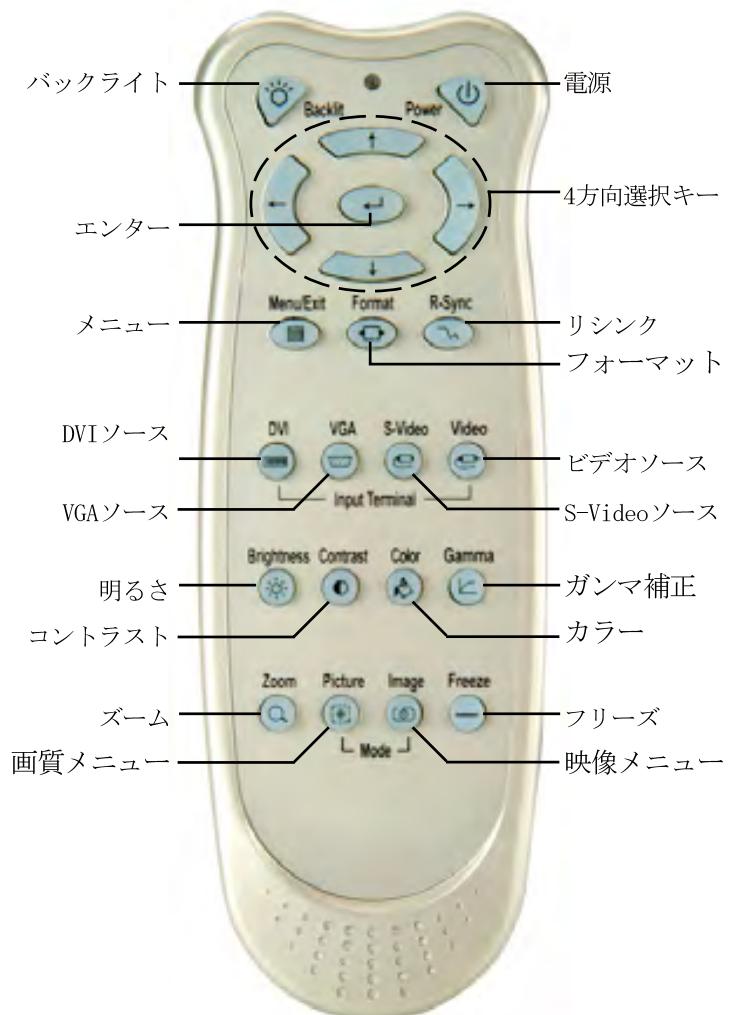
1. ランプ警告LED
2. 温度警告LED
3. 画質メニュー
4. フォーマット
5. ズーム
6. メニュー/終了
7. 4方向選択キー
8. エンター
9. フリーズ
10. リシンク
11. ソース
12. 電源/スタンバイ

接続ポート



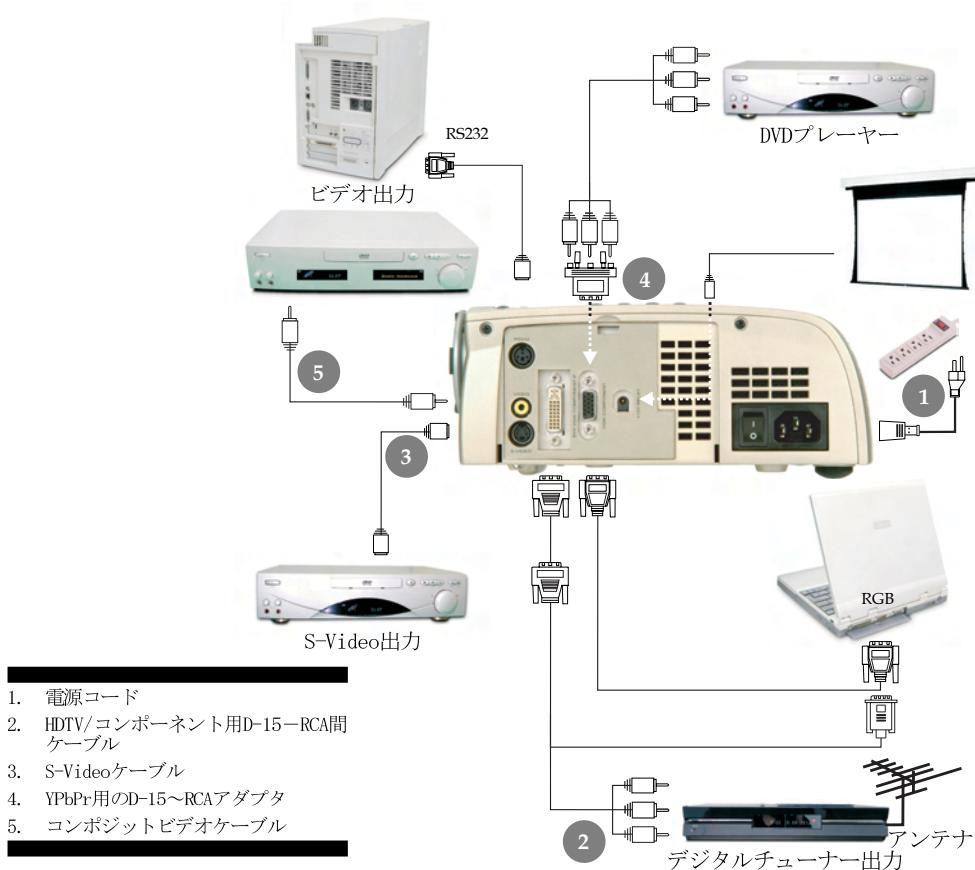
1. RS232入力コネクタ
2. コンポジットビデオ入力コネクタ
3. S-Video入力コネクタ
4. DVI入力コネクタ
5. PCアナログ信号/HDTV/コンポーネントビデオコネクタ
6. 12Vリレーコネクタ
7. 電源スイッチ
8. 電源コネクタ

リモートコントロール



インストール

プロジェクタを接続するには



❖ご使用のコンピュータでプロジェクタを適切に操作できるよう、グラフィックスカードのディスプレイモードを 1024 X 768同等もしくはそれ以下に調整してください。また、ディスプレイモードのタイミングがプロジェクタと互換しているか確認してください。38ページの“互換モード”的項をご参照ください。

インストール

プロジェクタの電源オン/オフ切り換え

プロジェクタの電源をオンにする

1. レンズキャップを取り外してください。❶
 2. 電源コードと信号ケーブルがしっかりと接続されているか確認してください。
 3. プロジェクタの側面にある本体電源スイッチを入れ、プロジェクタを1-2分ほどウォームアップします。❷
 4. コントロールパネルの電源/スタンバイボタンを押して、ランプの電源を入れます。
- スタートアップ画面が表示され、20秒がカウントダウンされて、電源／スタンバイのインジケーターがオレンジ色に点灯します。
次に“ランプ”LEDインジケーターが緑色に点灯します。
5. ご利用のソース（コンピュータ、ノートブック、ビデオプレーヤー等…）の電源を入れてください。プロジェクタがソースを自動検出します。

- ❖ スクリーンに“信号なし”と表示された場合、信号ケーブルが確実に接続されているか確認してください。
- ❖ 複数のソースが同時に接続されている場合は、リモートコントロールまたはパネルコントロールの“ソース”ボタンで切り換えを行ってください。



❖ プロジェクターの電源を入れてから、シグナルソース設備の電源を入れてください。



インストール

プロジェクトの電源を切る

1. “電源/スタンバイ”ボタンを押して、プロジェクト・ランプの電源を切ってください。
 2. “電源/スタンバイ”ボタンを押すと、オンスクリーン・ディスプレイには「Power off the lamp?」（ランプを消しますか？）というメッセージが表示されます。確定するには、再度“電源/スタンバイ”ボタンを押します。ボタンを押さない場合、メッセージは5秒後に消えます。
 3. “電源/スタンバイ”LED インジケーターがオレンジ色に点灯し、冷却ファンが30秒程作動します。“電源/スタンバイ”インジケーターの点滅後、プロジェクト側面の本体電源スイッチを消すことができます。プロジェクトの電源を入れたい場合は、インジケーターが点灯し始めてから90秒以内に“電源/スタンバイ”ボタンを押してください。
 4. 電源を切ってからすぐにプロジェクトの電源を入れないでください。
- ❖ “LAMP (ランプ)” インジケーターが10秒程緑色に点灯すると、オンスクリーン・ディスプレイに“ファンエラー (ファン作動失敗)”というメッセージが表示されます。その場合は、お買い求めになった販売店またはサービスセンターへご連絡ください。
- ❖ “TEMP (温度)” インジケーターがオレンジ色に点灯している場合は、プロジェクトが過熱状態であることを示しています。オンスクリーン・ディスプレイに“温度が高すぎます”というメッセージが表示されます。プロジェクトは自動的にシャットダウンします。通常の状態では、プロジェクトは再度電源入れて使用することができますが、もし問題が解決しない場合は、お買い求めになった販売店またはサービスセンターへご連絡ください。
- ❖ “ランプ冷却中は、再度“電源/スタンバイ”ボタンを押しても、ランプ保護回路の働きによりランプは点灯しません。ランプの冷却が終わり、“電源/スタンバイ”よこLEDインジケーターがオレンジ色に点滅するまでお待ちください。

投影された映像の調整

プロジェクタの高さを調整する

プロジェクタには、高さを調整するためのエレベーター フットが付いています。

プロジェクタを高くする:

1. エレベーター ボタンを押してください①。
2. プロジェクタを好みの表示角度まで上げ②、ボタンを放してエレベーター フットを固定してください。
3. チルトの微調整には③用してください。

プロジェクタを低くする:

1. エレベーター ボタンを押してください。
2. プロジェクタを下げ、ボタンを放してエレベーター フットを固定してください。
3. チルトの微調整には③を使用してください。



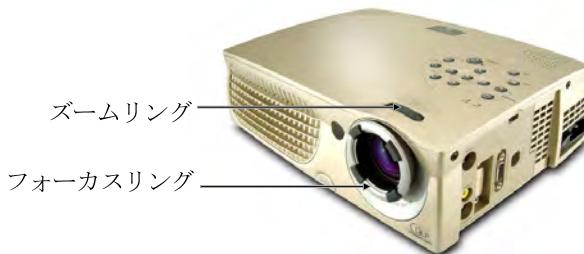
◆投影後の調整は前面の排気口に注意して下さい。やけどの恐れがあります。



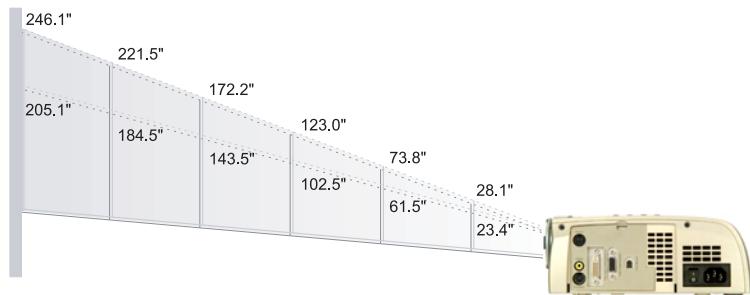
インストール

プロジェクタのズーム/フォーカスを調整する

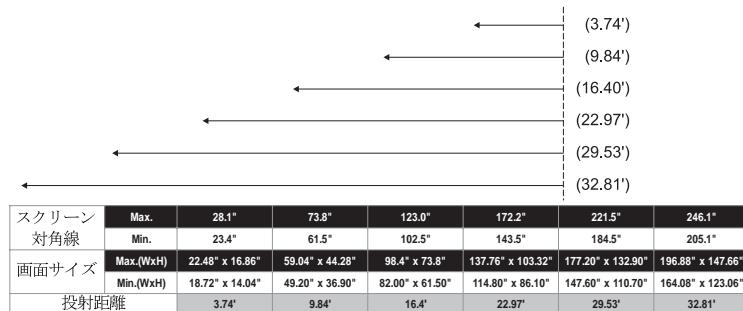
ズームイン/アウトにはズームリングで調整できます。ズームインの場合は、ズームリングを右へ、ズームアウトは左へ回転させます。イメージをフォーカスするには、イメージが鮮明になるまでフォーカスリングを回転させてください。プロジェクタは3.74 フィート～ 32.81 フィート (1.14m ~10.00m) の距離でフォーカスされます。



投影画面のイメージサイズを調整する



❖ 1 フィート=0.3m、
1 インチ=2.54 cm



❖ このグラフはあくまでも参考用です。

ユーザーコントロール

コントロールパネル & リモートコントロール
機能を調整する方法には：リモートコントロールまたはコントロールパネル、の2通りがあります。

コントロールパネル



リモートコントロール



リモートコントロールを使うには

バックライト

- “Backlit(バックライト)” ボタンを押すと、リモートコントロールのボタンすべてが緑色の蛍光色に点灯します。通常モードへ戻すには、もう一度 “Backlit(バックライト)” ボタンを押してください。

電源

- 17~18ページの “プロジェクタの電源オン/オフ切り換え” の項をご参照ください。

4方向選択キー

- ▲ ▼ ← → アイテムの選択や選択内容の調整に使用します。

エンター

- アイテムの選択内容を確認します。

ユーザーコントロール

メニュー/終了

- ▶ OSDメニューを表示または終了します。

フォーマット

- ▶ OSDメニューの“表示メニュー”を表示し、希望のスクリーンタイプを選択します。

リシンク

- ▶ 自動的にプロジェクタの入力ソースを選びます。

DVI

- ▶ “DVI”を押して、アナログRGB、アナログDVI、デジタルDVI、デジタルRGB、コンポーネント-p、HDTVソースを選択します。

VGA

- ▶ “VGA”を押して、アナログRGB、アナログYPbPr、コンポーネント、HDTVソースを選択します。

S-Video

- ▶ “S-Video”を押してS-Videoソースを選択します。

Video

- ▶ “ビデオ”を押してコンポジットソースを選択します。

明るさ

- ▶ 映像の明るさを調整します。

コントラスト

- ▶ コントラストは、画像の最も明るい部分と最も暗い部分の差異を調整します。

カラー

- ▶ カラー設定では、ビデオ映像を白黒から彩度のあるフルカラーへ調整します。

ガンマ補正

- ▶ “ガンマ補正”ボタンを押してスケールを調整します。

ズーム

- ▶ “ズーム”ボタンを押すと、ズームアイコンが画面に表示されます。
▶ または ◀ ボタンを押してイメージのズームイン・ズームアウトを行います。

画質メニュー

- ▶ OSDメニューの画質メニューのモードアイテムを表示します。

ユーザーコントロール

映像メニュー

- ▶ OSDメニューの映像メニューを表示します。
- フリーズ（静止）
 - ▶ “フリーズ”ボタンを押して、映像を静止します。

コントロールパネルを使うには

電源/スタンバイ

- ▶ 17~18ページの“プロジェクタの電源ON/OFFの切り換え”的項をご参照ください。

ソース

- ▶ “ソース”を押して、RGB、DVI-デジタル、DVI-アナログ、S-Video、コンポジット、Component、HDTVソースから選択してください。

リシンク

- ▶ 自動的にプロジェクタの入力ソースを選びます。

ズーム

- ▶ “ズーム”ボタンを押すと、ズームアイコンが画面に表示されます。
- ▶ または ◀ ボタンを押してイメージのズームイン・ズームアウトを行います。

4方向選択キー

- ▶ ▲ ▼ ◀ ▶ アイテムの選択や選択内容の調整に使用します。

エンター

- ▶ アイテムの選択内容を確認します。

メニュー/終了

- ▶ OSDメニューを表示または終了します。

画質メニュー

- ▶ OSDメニューの画質メニューのモードアイテムを表示します。

フォーマット

- ▶ OSDメニューの“表示メニュー”を表示し、希望のスクリーンタイプを選択します。

フリーズ（静止）

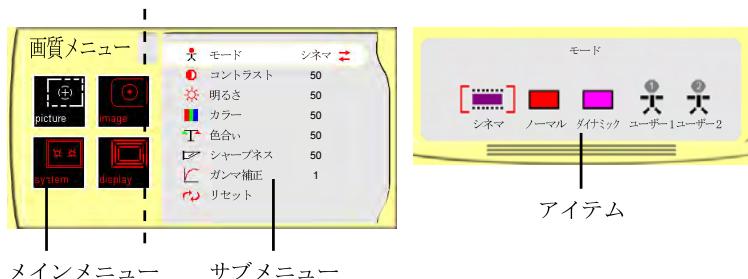
- ▶ “フリーズ”ボタンを押して、映像を静止します。

ユーザーコントロール

オンスクリーン・ディスプレイメニュー

操作方法

- ▶ プロジェクタには、多言語オンスクリーン・ディスプレイ（OSD）メニューが装備されており、映像調整や様々な設定が可能になっています。
- ▶ OSDメニューを開くには、リモートコントロールまたはコントロールパネルの“メニュー”ボタンを押してください。
- ▶ OSDが表示されたら、 キーを押してメインの項目を選択します。
特定のアイコンを選択する際に、“エンター”キーを押して、サブメニューに入ります。
 - ◆ OSDを終了するには、“メニュー”か“メニュー／終了”ボタンを押します。
- ▶ サブメニューが表示されたら、 キーを押して必要な項目を選択し、 キーで設定を調整します。
 - ◆ メインメニューへ進むには、“メニュー”ボタンを押します。
- ▶ キーを使ってサブメニューアイテムのパラメータや必要な機能を調整した後、“エンター”キーを押して変更を確定してください。画面はサブメニューに戻ります。
 - ◆ “メニュー”ボタンを押してサブメニューへ戻ります。“エンター”キーを押して変更を確定せずに画面を終了すると、アイテムは変更されません。



ユーザーコントロール

メニューツリー

画質	モード	シネマ/ノーマル/ダイナミック/ ユーザー1/ユーザー2
メニュー....	コントラスト 明るさ カラー 色合い シャープネス ガンマ補正 リセット	前に戻る/すべて
映像	ホワイトピーリング	1 / 2 / 3
メニュー....	色温度 映像モード 高度な調整 映像信号調整 ディインターレース リセット	フィルム/ビデオ/ グラフィック/PC 赤ゲイン/緑ゲイン/青ゲイン/ 赤バイアス/緑バイアス/ 青バイアス 水平/垂直/周波数/位相 自動/フィルム 前に戻る/すべて
システム....	表示言語 ランプ 自動映像入力 自動シャットダウン バックカラー	ランプ使用時間/ランプ寿命警告 オン/オフ オン/オフ 青/黒
表示	投射方式	前面据置/背面据置/前面天吊/ 背面天吊
メニュー....	スクリーンタイプ フォーマット キーストン ズームモード	4:3/16:9 4:3=>ネイティブ / 4:3/16:9 16:9=>ネイティブ / ウィンドウ / 16:9/ レターボックス

ユーザーコントロール



画質メニュー

モード

様々なな画像に合わせて3つの工場初期設定と2つのユーザー設定が用意されています。ユーザー1または2を選択すると、以下のサブメニューが表示されます。コントラスト、明るさ、カラー、色合い、シャープネス、ガンマ補正をカスタマイズすることができます。

コントラスト

コントラストは、画像の明るい部分と暗い部分の差異を調整します。コントラストを調整すると、画像の白黒要素が増減します。

- ▶ ⏪ を押すとコントラスト値が減少します。
- ▶ ⏩ を押すとコントラスト値が増加します。

明るさ

映像の明るさを調整します。

- ▶ ⏪ を押すとイメージが暗くなります。
- ▶ ⏩ を押すとイメージが明るくなります。

カラー

カラー設定では、ビデオ映像を白黒から色彩のあるフルカラーへ調整します。

- ▶ ⏪ を押すとイメージのカラ一度が減少します。
- ▶ ⏩ を押すとイメージのカラ一度が増加します。

色合い

色合いは赤と緑のカラーバランスを調整します。

- ▶ ⏪ を押すとイメージの緑色の要素が増加します。
- ▶ ⏩ を押すとイメージの赤色の要素が増加します。

シャープネス

映像の鮮明度を調整します。

- ▶ ⏪ を押すと鮮明度が下がります。
- ▶ ⏩ を押すと鮮明度が上がります。



❖“カラー”的サブメニューはデジタルRGBソースには適用しません。

❖“色合い”的サブメニューはデジタルRGB、コンポーネントビデオ、アナログRGB入力ソースには適用しません。

ユーザーコントロール



画質メニュー

ガンマ補正

効果は暗い画面を示します。ガンマ値が高いほど、暗い画面が明るく見えます。

リセット

工場出荷時の既定値を変更します。

- ▶ 前に戻る:現在の設定を工場出荷時の既定値にリセットします。
- ▶ すべて:すべてのメニューの設定を工場出荷時の既定値にリセットします。

ユーザーコントロール



映像メニュー

ホワイトピーリング

DMDチップのホワイト・ピーリングレベルを設定するには、ホワイト・セグメント・コントロールをご使用ください。画像に含まれる白色の度合いを調整します。0は最小ピーリングを、10は最大ピーリングを示します。映像をより強調したい場合は、最大設定の方向へ調整してください。また、滑らかでより自然な映像にしたい場合は、最小設定の方向へ調整します。

色温度

色温度を調整します。範囲は“1”～“3”。”温度”設定が高くなると画面は寒色が強くなり、“温度”が低くなると暖色が強くなります。

映像モード

様々なイメージに対応するために、4種類の工場初期設定が用意されています。

- ▶ フィルム:DVDなどの映画素材の映像
- ▶ ビデオ:TV・ビデオなどの映像
- ▶ グラフィック:コンピュータグラフィック・PCゲームなどの映像
- ▶ PC:PCアプリケーションなどの映像

高度な調整

◀ や ▶ を使ってR(赤)、G(緑)、B(青)を使って明るさとコントラストを調整します。



※“映像信号調整”サブメニューはアナログRGB、アナログYPbPr入力ソースに対応しています。

映像信号調整

- ▶ 水平:水平位置を調整します。
- ▶ 垂直:垂直位置を調整します。
- ▶ 周波数:“周波数”は、コンピュータグラフィックカードの周波数に合わせて、ディスプレイデータ周波数を変更するためのものです。縦のちらつき線がある場合には、この機能を使って調整を行ってください。

ユーザーコントロール



映像メニュー



◆ "ディインターレース"のサブメニューは、S-Video、コンポジットビデオ、コンポーネントビデオ入力ソースに対応しています。

- ▶ 位相:ディスプレイの信号タイミングをグラフィックカードの信号タイミングに同期化する場合、“位相”を選択します。イメージが不安定またはちらつく場合にも、トラッキング機能を使って修正します。

ディインターレース

ビデオソースからのディインターレースを軽減します。

- ▶ フィルム:ホームシアター
- ▶ 自動:オート

リセット

工場出荷時の既定値を変更します。

- ▶ 前に戻る:現在の設定を工場出荷時の既定値にリセットします。
- ▶ すべて:すべてのメニューの設定を工場出荷時の既定値にリセットします。

ユーザーコントロール



システム

言語

OSDは多言語で表示することができます。◀または▶キーで好みの言語を選択してください。

ランプ

- ▶ ランプ使用時間: ランプの使用経過時間を表示します。
- ▶ ランプ寿命警告: "ランプの交換"時における警告メッセージの表示/非表示を切り換えるには、この機能を選択します。2000時間経過するとメッセージが表示されます。

自動映像入力

映像信号が途切れた時自動的に別の信号を検索します。またコントロールパネル上の“ソース”ボタンを押す事で途切れた信号を検索します。

自動シャットダウン

映像信号の入力がない場合に、システムをシャットダウンする時間の間隔を決定します。プロジェクターを自動的にシャットダウンするには、"オン"を選択します。

バックカラー

映像信号が検出されない場合に黒または青い画面を表示する場合は、この機能を使用します。

ユーザーコントロール



表示メニュー

投射方式



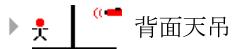
工場出荷時の初期設定。



この機能を選択すると、プロジェクタは反転した映像に表示することができるため、半透明スクリーンを使用し、リア投影できます。



この機能を選択すると、プロジェクタは映像の上下を逆にすることができます。プロジェクタを天井に取り付けることができます。



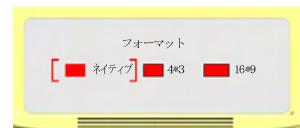
この機能を選択すると、プロジェクタは反転した映像に表示し、更に上下を逆にすることができます。天井に取り付けたプロジェクタで半透明スクリーンを使用し、リア投影できます。

スクリーンタイプ

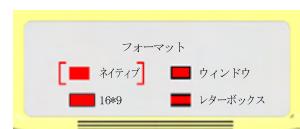
使用しているスクリーンタイプを選択してください4:3または16:9。

フォーマット

4:3画面タイプが選択されている場合、右のOSDが表示されます。→



16:9画面タイプが選択されている場合、右のOSDが表示されます。→



ユーチャー・コントロール



表示メニュー

- ▶ ネイティブ:オリジナル映像サイズ。
- ▶ レターボックス:4:3 DVDタイトルは16:9画面で投射され、"極めて"小さな画面が表示されます。レターボックスモードは映像を全画面表示します。



ネイティブ



レターボックス

- ▶ ウィンドウ:4:3映像がユーザーの16:9よりも大きい場合、"ウィンドウ"モードを選択して映像を縮小し、投射距離を変更せずに画面に合わせることができます。



ネイティブ



ウィンドウ

キーストン

プロジェクタの傾きによって起こるゆがみを調整します。

ズームモード

様々な倍率でイメージをズームすることができます。ズーム後、イメージを中央に配置します。

トラブルシューティング

プロジェクタにトラブルが発生した場合は、以下をご参照ください。それでも、問題が解決しない場合は、お買い求めになった販売店、またはサービスセンターへお問い合わせください。

問題：画面に何も表示されない。

- ▶ すべてのケーブルと電源コードが、インストールの項で説明されているように正しくしっかりと接続されているかどうか確認してください。
- ▶ コネクタのピンが曲がっている、または壊れていなか確認してください。
- ▶ プロジェクションランプがしっかりと装着されているか確認してください。詳しくは、“ランプの交換”のページ項をご覧ください。
- ▶ レンズキャップが取り外されているか、プロジェクタのスイッチがオンになっているか確認してください。

問題：イメージが一部しか表示されない、スクロールしてしまう、正しく表示されないなど。

- ▶ リモートコントロールまたはコントロールパネルの“リシンク”ボタンを押してください。
- ▶ PCをご使用の場合は：

コンピュータの解像度が XGA の場合 1024×768 。

Windows 3.xの場合：

1. Windowsプログラムマネージャで、メイングループの“Windows セットアップ”をクリックします。
2. ディスプレイの解像度設定が XGA の場合 1024×768 。

Windows 95, 98, 2000, XPの場合：

1. “マイコンピュータ”アイコンをクリックし、“コントロールパネル”フォルダを開いて、“画面”アイコンをダブルクリックしてください。
2. “設定”タブを選択してください。
3. “デスクトップエリア”で解像度設定が確認できます。解像度設定が XGA の場合 1024×768 。

プロジェクタがまだイメージ全体を投射できない場合は、ご使用になっているモニターの表示を変更する必要があります。以下の手順をご参照ください。

4. 前述の1~3に従ってください。次に、“詳細”ボタンをクリックしてください。
5. 詳細タブを押す。“モニター”タブで“変更”ボタンを選択してください。
6. 製造元のボックスで“標準モニターの種類”を選択してください。次に“モデル”のボックスで必要な解像度モードを選択してください。
7. 解像度設定が XGA の場合 1024×768 。
 - ▶ ノートブックPCをご使用の場合：
 1. まず上記のコンピュータ解像度設定の手順通りに操作してください。
 2. ノートブックPCのディスプレイを外部出力に切り換えて下さい。詳しくはご使用のノートブックPCの取り扱い説明書で確認して下さい。
 - ▶ 解像度の変更が困難な場合や、モニターがフリーズしてしまう場合は、すべての機器とプロジェクションディスプレイを再起動させてください。その際は、プロジェクターの電源を先に入れてからパソコンを再起動して下さい。

問題：ノートブックまたはApple PowerBookコンピュータの画面が写らない。

▶ ノートブックPCをご使用の場合：

ノートブックPCの中には、第二のディスプレイデバイスを使用している場合、それ自体のコンピュータ画面が無効になってしまふものがあります。画面を有効にする方法は各機種によって異なります。詳細は、ご使用になっているコンピュータの添付資料をご覧ください。

▶ Apple PowerBookをご使用の場合

コントロールパネルで、PowerBookディスプレイを開き、ビデオモニター“オン”を選択してください。

問題：イメージが不安定、またはちらつく。

▶ “位相”を使って修正してください。

▶ コンピュータでモニターカラー設定を変更してください。

問題：イメージに縦のちらつき線がある

- ▶ “周波数”を調整してください。
- ▶ グラフィックカードのディスプレイモードを設定しなおし、互換性を改善してください。

問題：映像のフォーカスが合っていない。

- ▶ プロジェクタレンズのフォーカスリングを調整してください。
- ▶ プロジェクション画面がプロジェクタから3.74ft. (1.14m)~32.81ft. (10.00m) の距離にあるか確認してください。

問題：16:9DVDの表示時に画面の一部切り出しがある。

プロジェクタ本体は自動的に16:9DVDを検出し、4:3のデフォルト設定で全画面にデジタル化し、アスペクト比を調整します。

プロジェクションディスプレイにまだ画面の切り出しがある場合は、下記を参考にアスペクト比を調整する必要があります。：

- ▶ 16:9DVDをご覧になっている場合は、ご使用のDVDプレーヤー上で4:3アスペクト比を選択してください。
- ▶ ご使用のDVDプレーヤー上で4:3アスペクト比が選択できない場合は、ご使用のディスプレイに合わせ、プロジェクタの4:3オンスクリーン・ディスプレイ(OSD)機能を選択してください。

問題：イメージが逆になっている。

- ▶ “メニュー”を開き、“表示メニュー”を選んで、投射方式を調整してください。

問題：ランプが焼き切れる、または小さな音がする。

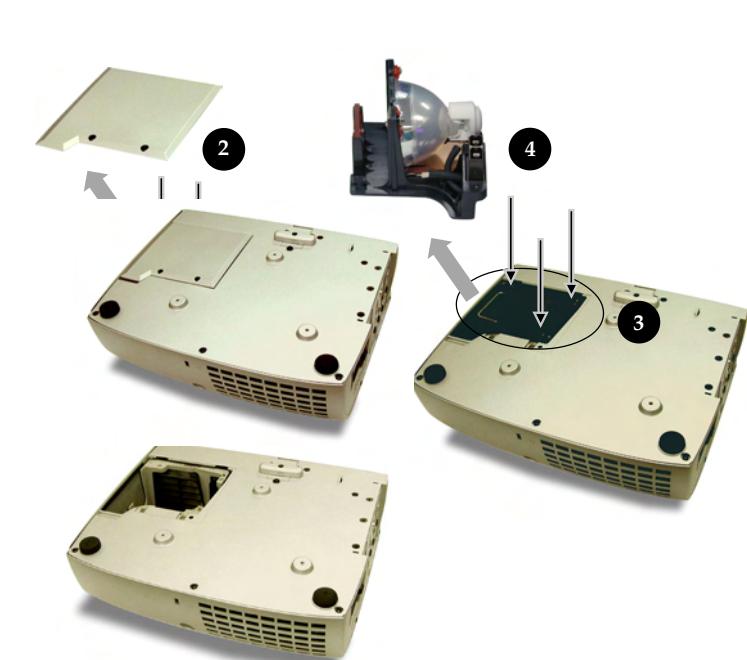
- ▶ ランプの寿命が近づくと、焼き切れたり破裂音をさせたりすることがあります。このような場合、ランプモジュールを交換するまでプロジェクタを使用できません。ランプを交換するには“ランプの交換”的手順に従ってください。

ランプの変換

プロジェクタはランプの寿命を自動検出し、“ランプがまもなく消えるかもしれません！交換をお勧めします！”このメッセージが表示されたら、お近くの販売店やサービスセンターに連絡し、すぐにランプを交換してください。



⚠ 警告：ランプ部
は熱くなっています！熱が冷めてから
ランプを交換してください！



⚠ 警告：人体に害を及ぼす危険がありますので、ランプモジュールを落としたり、ランプの電球に触れたりしないでください。電球が落ちると、破片が飛び、ケガをする恐れがあります。

ランプ交換の手順：

1. 電源／スタンバイボタンを押し、プロジェクタの電源を切ってください。
2. 少なくとも60分は放置してプロジェクタの余熱を冷ましてください。
3. 本体の電源スイッチを切ってください。
4. 電源コードを取り外してください。
5. スクリュードライバーを使って、カバーからネジを外してください。①
6. カバーを取り外してください。②
7. ランプモジュールからネジ3本を外してください。③
8. ランプモジュールを引き出します。④

ランプモジュールを取り付ける際は、以上のステップを逆から行ってください。

仕様

デバイス	-シングルチップ0.7" DLP™
ランプ	-200 Wのユーザー交換可能なUHPランプ
解像度	-1024 ピクセル(H) X 768 ライン(V)
ディスプレイカラー	-16.7M 色
投射レンズ	-F/2.44~2.69 f=28.8~34.5mm、1.2倍手動ズーム&フォーカス付き
投射画面サイズ	-23.4インチ~246.1インチ
投射距離	-3.74~32.81 ft (1.14m~10.00m)
ビデオ互換性	-NTSC/NTSC 4.43/PAL/PAL-M/PAL-N/SECAM および HDTV 対応 コンポジットビデオ& S-Video 対応
水平周波数	-15kHz~100kHz 水平スキャン
垂直周波数	-43Hz~120Hz 垂直スキャン
使用電源	-ユニバーサル AC 入力100~240V；入力周波数 50~60Hz
消費電力	-320 W (通常の動作時)
入出力端子	-電源: AC 電源入力ソケット -DVIターミナル: デジタルRGB、アナログRGB、アナログYPbPr -VGAターミナル: アナログRGB、アナログYPbPrとYCbCr -S-Videoターミナル -コンポジットビデオターミナル
重量	-6.4 lbs / 2.9 kgs
外形寸法(W x H x D)	-10.9 x 3.3 x 8.9 インチ / 277 x 85 x 225 mm
動作環境	-動作温度: 0°C~40°C/32°F~104°F 湿度: 80% (最大) -保管温度: -10°C~60°C/14°F~140°F 湿度: 80% (最大)
安全規定	-FCC Class B,CE Class B,VCCI-II,UL,cUL,TÜV,BSMI

互換モード

モード	解像度	(アナログ)	
		垂直周波数 (Hz)	水平周波数 (kHz)
VESA VGA	640 X 350	85	37.9
VESA VGA	640 X 400	85	37.9
VESA VGA	640 X 480	60	31.5
VESA VGA	640 X 480	72	37.9
VESA VGA	640 X 480	75	37.5
VESA VGA	640 X 480	85	43.3
VESA VGA	720 X 400	85	37.9
SVGA	800 X 600	56	35.2
SVGA	800 X 600	60	37.9
SVGA	800 X 600	72	48.1
SVGA	800 X 600	75	46.9
SVGA	800 X 600	85	53.7
VESA XGA	1024 X 768	43	35.5
VESA XGA	1024 X 768	60	48.4
VESA XGA	1024 X 768	70	56.5
VESA XGA	1024 X 768	75	60.0
VESA XGA	1024 X 768	85	68.7
* VESA SXGA	1280 X 1024	60	63.98
* VESA SXGA	1280 X 1024	75	79.98
MAC LC13"	640 X 480	66.66	34.98
MAC II 13"	640 X 480	66.68	35
MAC 16"	832 X 624	74.55	49.725
MAC 19"	1024 X 768	75	60.24
* MAC	1152 X 870	75.06	68.68
MAC G4	640 X 480	60	31.35
MAC G4	640 X 480	120	68.03
MAC G4	1024 X 768	120	97.09
IMAC DV	640 X 480	117	60
IMAC DV	800 X 600	95	60
IMAC DV	1024 X 768	75	60

 注: "*"圧縮コンピュータ画像

株式会社オプトマジャパン
〒160-0002 東京都新宿区坂町28-6 坂町Mビル1F
<http://www.optoma.co.jp>

お問合せ
TEL:03-5363-9770
10:00～12:00, 13:00～17:00
(土・日・祝日・弊社休日を除く)

FCC Notice

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation.



Trademarks

Trademarks are the rights of their respective owners.